

「暫定リストの見直し」

文／西村幸夫 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授

これまでの経緯

世界遺産条約の締約国は、世界遺産リストへの登録推薦の候補を記載した暫定リストをユネスコに提出する必要がある。現在、日本の暫定リストの記載物件は9件だ(表1)。

日本は1992年の条約批准時に、文化遺産10件、自然遺産2件の計12件を暫定リストに記載した(そのうち古都鎌倉と彦根城以外は世界遺産リストに登録済み)。その後、1995年に原爆ドーム、2001年に紀伊山地の霊場と参詣道、平泉の文化遺産、石見銀山遺跡、2004年に知床を暫定リストに追加した。

no.	提案名	登録年
1	古都鎌倉の寺院・神社ほか(神奈川県)	1992年
2	彦根城(滋賀県)	
3	平泉-浄土思想を基調とする文化的景観-(岩手県) (2006年12月26日にWHCに推薦書を提出。2008年の世界遺産リスト登録を目指す)	2001年
4	富岡製糸場と絹産業遺産群(群馬県)	
5	小笠原諸島(東京都)	
6	長崎の教会群とキリスト教関連遺産(長崎県)	2007年
7	飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群(奈良県)	
8	富士山(静岡県、山梨県)	
9	国立西洋美術館本館(東京都) (7カ国のル・コルビュゼ建築23件の1件として、2007年9月に暫定リストに登録。フランスが2008年1月に推薦書を提出予定。2009年の世界遺産リスト登録を目指す)	

締約国の多くは、世界遺産リストに登録された数と同程度の遺産を暫定リストに記載しているため、日本でも暫定リストの本格的な追加が検討されることになった。

従来は文化庁、環境省内の検討委員会によって候補が挙げられていたが、世界遺産とりわけ文化遺産への関心が全国で高まってきたため、文化庁は2006年度の暫定リスト改訂に際し、地方公共団体から公募した。2006年度の見直しのプロセス

文化庁は地方公共団体に対し、2006年11月30日までに暫定リストへの追加提案を提出することを求めた。提案は都道府県と市町村との共同で行い、提案される文化遺産は原則として共通の主題を持つ複数の資産からなり、国指定の文化財が複数含まれていることが必要とされた。

2006年9月、候補物件の選定を行う組織として、文化審議会文化財分科会の中に18人の委員からなる世界遺産特別委員会が設置された。世界遺産委員会の審査プロセスに類似した手続きを採用することで、従来よりも透明な審議が可能となった。

2006年度に提案があった資産は24件(表2)。複数の資産構成を求められたため、四国八十八箇所巡りの遍路道など、これまでの文化財の

範囲に留まらないユニークな提案が多かった。

このうち、富岡製糸場と絹産業遺産群、富士山、飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群、長崎の教会群とキリスト教関連遺産の4件が、2007年1月に暫定リストに記載されることとなった。いずれも日本の文化を代表し、顕著で普遍的な価値を証明することが可能であるものと評価された。残りの20件は翌年度に向けて継続審議されることになった。

地方公共団体からの提案は継続して受け付けられ、2007年9月28日までに新たに13件が提案された(表3)。継続審議の20件についても、同12月28日まで再提案を受け付け中だ。

2007年度の審査は、「旧石器・縄文・弥生・古墳時代」「古代・中世・近世期」「近代」「時代を超えて、人と自然とのかかわりを中心とする遺産」の四つの小委員会に分かれて行われる予定だ。

なお、自然遺産は、環境省と林野庁が主催する検討会で、2003年に知床、小笠原諸島、琉球諸島の3候補が挙げられ、環境保全の準備が整った案件から暫定リスト入りする。2007年1月30日に上記4件の文化遺産候補と共に、小笠原諸島が暫定リストに加えられた。

表2 2006年度に暫定リストに提案のあった文化資産

no.	提案名	都道府県	暫定リスト記載
1	青森県の縄文遺跡群	青森県	
2	ストーンサークル	秋田県	
3	出羽三山と最上川が織りなす文化的景観 -母なる山と母なる川がつくった人間と自然の共生風土-	山形県	
4	富岡製糸場と絹産業遺産群-日本産業革命の原点-	群馬県	2007年1月
5	金と銀の島、佐渡一鉱山とその文化-	新潟県	
6	近世高岡の文化遺産群	富山県	
7	城下町金沢の文化遺産群と文化的景観	石川県	
8	霊峰白山と山麓の文化的景観	石川県・福井県・岐阜県	
9	若狭の社寺建造物群と文化的景観-仏教伝播と神仏習合の聖地-	福井県	
10	善光寺-古代から続く浄土信仰の霊地-	長野県	
11	松本城	長野県	
12	妻籠宿と中山道	長野県	
13	飛騨高山の町並みと屋台	岐阜県	
14	富士山	静岡県・山梨県	2007年1月
15	飛鳥・藤原-古代日本の宮都と遺跡群	奈良県	2007年1月
16	三徳山	鳥取県	
17	萩城・城下町及び明治維新関連遺跡群	山口県	
18	錦帯橋と岩国の町割	山口県	
19	四国八十八箇所霊場と遍路道	徳島県・高知県・愛媛県・香川県	
20	九州・山口の近代化産業遺産群	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県	
21	沖ノ島と関連遺産群	福岡県	
22	長崎の教会群とキリスト教関連遺産	福岡県	2007年1月
23	宇佐・国東八幡文化遺産	長崎県	
24	黒潮に育まれた亜熱帯海域の小島「竹富島・波照間島」の文化的景観	大分県	

表3 2007年度新たに提案のあった文化資産

no.	提案名	都道府県	市町村
1	北海道東部の埋もれて残る大規模竪穴住居跡群	北海道	北見市・標津町 塩竈市・東松島市
2	松島一貝塚群に見る縄文の原風景	宮城県	松島市・七ヶ浜町・利府町
3	水戸藩の学問・教育遺産群	茨城県	水戸市
4	足尾銅山-日本の近代化・産業化と公害対策の起点-	栃木県	日光市
5	足利学校と足利氏の遺産	栃木県	足利市
6	埼玉古墳群-古代東アジア古墳文化の終着点-	埼玉県	行田市
7	立山・黒部 -防災大國日本のモデル-信仰・砂防・発電-	富山県	富山市・黒部市・上市町・立山町
8	日本製糸業近代化遺産 -日本の近代化をリードし、世界に羽ばたいた糸郷岡谷の製糸遺産-	長野県	岡谷市
9	天橋立-日本の文化景観の原点	京都府	宮津市・伊根町・与謝野町
10	百舌鳥・古市古墳群 -仁徳朝古墳のはじめとする巨大古墳群-	大阪府	堺市・羽曳野市・藤井寺市
11	近世岡山の文化・土木遺産群 -岡山藩御代澤田永忠の事績-	岡山県	岡山市・備前市・赤磐市・和気町
12	山口に花開いた大内文化の遺産 -京都文化と大内文化の受容と融合による国際性豊かな独自の文化-	山口県	山口市
13	阿蘇-火山との共生とその文化的景観	熊本県	阿蘇市・南小国町・小国町・産山村・高森町・南阿蘇村・西原村